

17年から県警察友の会副会長

長年にわたり友の会活動に尽力

全国警察官友の会の総会が6月7日、東京都千代田区・グランドアーク半蔵門で開かれ、席上、広島県警察友の会・副会長の宮地治夫氏（広島化成株会長）が、長年にわたり友の会活動に尽力したとして、露木康浩・警察庁長官と松澤建・全国警察官友の会会長から連名で「協力章」を受章した（写真）。同章は本年度、全国で4人が受章し、広島・岡山両県では宮地氏だけ。

全国警察官友の会は、警

察職員の活動に対して、側面的支援や激励を行うことを目的に組織された民間による任意団体で、広島県警察友の会は1998年、「県民生活の安全と平穏を守る警察職員の活動を側面的に支援・激励するとともに、警察と県民との間の理解と親睦を深め、もつて警察職員の士気の高揚と明るい社会秩序の実現に寄与する」とを目的に設立され、県内26警察署の管轄区域を単位として、26地区に350人の会員が加入、事務局は（株）旭協業（広島市中区八丁堀11-28、電082-222-0111）にある。

宮地氏は1939年4月19日生まれ。84歳。東京大学経済学部経営学科卒業。80年に広島化成社長、2003年-06年に同公安局委員長を務め、12年に広島県警察友の会に入会。17年に元広島県公安委員長・中島俊五郎氏の後任として、副会長に就任し現在に至っている。

宮地氏は、副会長就任以後、警察友の会福山地区の基盤強化に努め、現在、会員数は県内随一の57人（福山東警察署管内）となり、各種会合等を通じて東部地区全体の会員拡充に尽力しているという。

宮地氏の話「5月に広島

で開かれたG7サミットの警備・交通規制などが完遂できたのは、全国から派遣された2万4千人に及ぶ警

察官の努力に負うところが大きい。警備に付きまとう

上から目線の威圧的なものではなく、住民が積極的に協力するなどソフトなもの

で、両者の間に交流も生まれた。これは海外では考えられないことで、誇るべきことだ。今後も警察官への支援協力に力を注ぎたい」。



80年に広島化成社長、
84歳。東京大学経済
学部経営学科卒業。
全国警察官友の会は、警

察職員の活動に対し、側面的支援や激励を行うことを目的に組織された民間による任意団体で、広島県警察友の会は1998年、「県民生活の安全と平穏を守る警察職員の活動を側面的に支援・激励するとともに、警察と県民との間の理解と親睦を深め、もつて警察職員の士気の高揚と明るい社会秩序の実現に寄与する」とを目的に設立され、県内26警察署の管轄区域を単位として、26地区に350人の会員が加入、事務局は（株）旭協業（広島市中区八丁堀11-28、電082-222-0111）にある。

宮地氏は1939年4月19日生まれ。84歳。東京大学経済学部経営学科卒業。80年に広島化成社長、2003年-06年に同公安局委員長を務め、12年に広島県警察友の会に入会。17年に元広島県公安委員長・中島俊五郎氏の後任として、副会長に就任し現在に至っている。

宮地氏は、副会長就任以後、警察友の会福山地区の基盤強化に努め、現在、会員数は県内随一の57人（福山東警察署管内）となり、各種会合等を通じて東部地区全体の会員拡充に尽力しているという。

宮地氏の話「5月に広島で開かれたG7サミットの警備・交通規制などが完遂できたのは、全国から派遣された2万4千人に及ぶ警

察官の努力に負うところが大きい。警備に付きまとう

上から目線の威圧的なものではなく、住民が積極的に協力するなどソフトなもの

福山の宮地さん

警察庁長官表彰

友の会で警察活動支援

県警察友の会副会長を務める広島化成（福山市松浜町）の宮地治夫会長（84）が、警察庁長官と全国警察官友の会会長連名の協力賞を受賞した。活動に長年貢献したことが評価された。

県警察友の会は、警察活動の支援のため1998年に設立された。現在は約3

50の個人・法人が加入。警察行事での激励や職員の表彰、物品の寄贈などに取り組んでいる。

宮地さんは2012年、友の会に入会。17年からは副会長を務める。警察について「市民の信頼が厚い」と、活動を支える。新型コロナウイルス禍の近年は、消毒用品や空気清浄機などの寄贈にも力を入れてきたり。受賞に「すごい賞を頂いた。これからも役に立つたい」と話している。